

生活安全だより

2025年 3月号



～令和6年中の交通死亡事故～



令和6年中の千葉県内における交通人身事故件数は減少（12,587件、前年比－977件）しましたが、死者数は131人（前年比＋4人）と増加しました。

茂原警察署管内においても、交通人身事故件数は減少（364件、前年比－39件）しましたが、死者数は11人（前年比＋6人）と大幅に増加し、茂原市内においても5人（前年比＋2人）の方が亡くなるなど、過去5年間で最も多い交通死亡事故が発生しました。

茂原警察署及び茂原市では、飲酒運転などの悪質な運転者の取締りや交通事故防止の取組みを推進しています。悲惨な交通事故をなくすため、日頃から安全な運転や道路の横断などを心掛けましょう。

〈茂原市内における交通死亡事故死者数の推移（過去5年）〉

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
2人	3人	4人	3人	5人

【令和6年中における千葉県内の死亡事故の特徴】

◇ 死者数は歩行者が最も多い。

交通事故で亡くなった方のうち、最も多かったのは「歩行者」（45人）で全体の約3割を占めています。歩行中の死者の約4割（19人）が、道路を横断中に事故に遭っていました。

◇ 「日中」の「買い物時」に事故が多発

12時台から15時台に死亡事故が多発し、亡くなった方の通行目的の約半数が「買い物」でした。また、日常的に通行する道路で重大事故が多く発生する傾向が見られました。さらに、夕暮れ時（16時台から19時台）の死亡事故も多くなっています。

◇ 車両同士の事故では「出会い頭」が最多

車両同士の死亡事故で最も多かったのは「出会い頭」でした。原因の多くは「安全確認不足」で、「止まれ」の標識で一時停止をせず進行する、左右を十分に確認せずに交差点に進入するなどして、交差する道路を進行中の車両と衝突する事故が発生しています。

〈連絡先〉

茂原市役所 市民部 生活課

Tel 0475-20-1505 （月～金8：30～17：15）



～刑法犯認知件数 3 年連続増～



昨年、茂原市では 4 5 5 件（前年比＋1 8 件）の犯罪が発生しました。

住宅等に侵入する窃盗犯罪では、空き巣（6 件 前年比＋3 件）、忍び込み（2 件 前年比＋2 件）が増加したほか、屋外での窃盗犯罪では、特に自転車の盗難被害が大幅に増加（9 4 件 前年比＋2 4 件）しました。自転車盗難は主に無施錠で駐輪中に発生しています（被害自転車の約 7 割）。

〈茂原市における犯罪発生状況の推移（過去 5 年）〉

令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
5 0 2 件	3 7 9 件	3 9 6 件	4 3 7 件	4 5 5 件

〈千葉県内における犯罪認知件数〉

千葉県内での令和 6 年中の刑法犯に刑法犯認知件数は、県警のまとめによると、前年比 8 5 6 件増の 3 万 8, 3 9 4 件で、新型コロナ禍前の令和元年（4 万 1, 7 9 3 件）を下回ったものの、3 年連続の増加となりました。

検挙率は 3 6. 2 % に上昇しましたが、首都圏を中心に、SNS で犯罪の実行役を募る強盗事件も相次ぎ、体感治安悪化の要因となっています。

◇ 千葉県内の検挙率

- ・ 県内全体の検挙率は 36. 2 % で前年と比べて 4. 7 ポイント上昇した。
- ・ 殺人や強盗、不同意性交などの「重要犯罪」の検挙率は 86. 5 %（前年比＋10. 9 ポイント）
- ・ 侵入盗や自動車盗などの「重要窃盗犯」の検挙率は 56. 0 %（前年比＋14. 6 ポイント）
- ・ 強盗の検挙率は 96. 3 % で、殺人、不同意性交も 9 割超の検挙率

◇ 認知件数増加の要因

- ・ 金属盗や自転車盗などの窃盗犯が全体の 75. 3 % を占めている。
 - ・ 自転車盗は、9, 9 4 3 件で前年より 5 0 4 件増加した。
 - ・ 万引きは、5, 2 5 3 件で前年より 2 1 6 件増加した。
 - ・ 殺人や強盗、不同意性交等の凶悪な罪は 2 8 9 件で前年より 2 1 件増加した。
 - ・ 不同意性交等は、1 3 1 件で前年より 2 4 件増加した。
 - ・ 強盗の認知件数は、8 1 件（前年 80 件）と横ばいで、そのうち住宅強盗は 1 0 件であった。
- ※刑法の一部改正（令和 5 年 7 月 3 日施行）に伴い、「強制性交等」を「不同意性交等」に変更した。

